

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	実習前演習CBTⅡ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期	前期	教室名	901教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務し、急性期、スポーツ外来、回復期、療養病棟でのリハビリを経験。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。スポーツ医学検定1級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法を行う上で基礎となる臨床医学の範囲を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
CBT試験80% 小テスト20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業を予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	ヘルニアの問題を理解できる	配布プリント		特になし
	各コマにおける授業予定	ヘルニアの問題を解説			
第2回	授業を通じての到達目標	変形性関節症の問題を理解できる	教科書		前回の復習
	各コマにおける授業予定	変形性関節症の問題を解説			
第3回	授業を通じての到達目標	リウマチの問題を理解できる	教科書		前回の復習
	各コマにおける授業予定	リウマチの問題を解説			
第4回	授業を通じての到達目標	骨折の問題を理解できる	教科書		前回の復習
	各コマにおける授業予定	骨折の問題を解説			
第5回	授業を通じての到達目標	絞扼性神経障害の問題を理解できる	教科書		前回の復習
	各コマにおける授業予定	絞扼性神経障害の問題を解説			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患の問題が理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	虚血性心疾患の問題を解説		
第 7 回	授業を通じての到達目標	閉塞性動脈硬化症の問題が理解できる	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	閉塞性動脈硬化症の問題を解説		
第 8 回	授業を通じての到達目標	心不全の問題を理解できる	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	心不全の問題を解説		
第 9 回	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患の問題が理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	呼吸器疾患の問題を解説		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	糖尿病の問題が理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	糖尿病の問題を解説		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の問題ができる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	パーキンソン病の問題を解説		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	多発性硬化症の問題ができる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	多発性硬化症の問題を解説		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	重症筋無力症の問題ができる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症の問題を解説		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症の問題ができる	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	脊髄小脳変性症の問題を解説		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	筋ジスの問題を理解できる	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	筋ジスの問題を解説		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	実習前演習CBTⅡ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期	前期	教室名	901教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務し、急性期、スポーツ外来、回復期、療養病棟でのリハビリを経験。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。スポーツ医学検定1級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法を行う上で基礎となる臨床医学の範囲を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
CBT試験80% 小テスト20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業を予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	認知症の問題を解くことができる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	認知症の問題を解説			
第17回	授業を通じての到達目標	脳卒中の問題を解くことができる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	脳卒中の問題を解説			
第18回	授業を通じての到達目標	高次脳の問題を解くことができる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	高次脳の問題を解説			
第19回	授業を通じての到達目標	頭部外傷の問題が解ける	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	頭部外傷の問題を解説			
第20回	授業を通じての到達目標	臨床医学の問題を解ける	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	臨床医学の問題を解説			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			